

こんにちは

# 会社訪問記

適正処理による経営の安定イコール  
お客様の安定です

## 加山興業株式会社

(愛知県豊川市)

豊川市を拠点にサーマルリサイクルに取り組んでいる加山興業株式会社に伺い、会社の特色や経営方針などを加山社長にお話していただきました。——サーマルリサイクルに力を入れていらっしゃるということですが、いつ頃から取り組まれてきたのでしょうか。

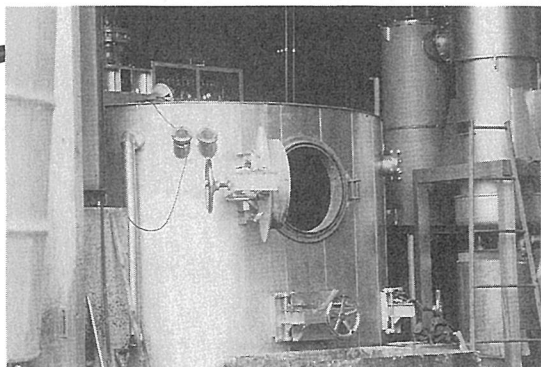
加山社長（以下加山に略）  
『現在地に来たのは昭和59年。その頃から構想はあったのですが、実際に建築基準法第51条の許可を取ったのは平成2年です。その前年は実験期間としてデータ収集を行っていました。』



加山社長

——現在どんな施設を持っていらっしゃいますか。

加山『焼却炉と破碎機、減容固化機、そして乾燥機があります。また、保管（選別）ができるので、手選別によるリサイクルも行っています。当社の施設の特徴は、焼却炉と乾燥機をドッキングさせていることですね。焼却炉の熱を使って湯を沸かし、そこで得た熱エネルギーを利用して汚泥を乾燥させることが可能です。その結果、4tの汚泥を1t程に減らすことができ大幅な減量化を実現しています。当社の焼却炉はバッチ炉なので、人がいない時間でも自動的にカロリー調整をして効率的に焼却を行うことができます。すべてに温度センサーを設けてありますので、万一、焼却中に炉内温度に異常が生じても即停止できるようになっています。サーマルリサイクルこそ、私たちが行えるリサイクルの理想的なカタチではないかと思えますね。当社は収集運搬から中間処理、最終処分まで許可を取得していますが、いまはリサイクル・減量化を積極的に推進しているところです。』



乾燥機

——減容固化についてももう少しお話いただけませんか。

加山『木くずを主体に廃プラと紙くずを混ぜて工場のボイラー用燃料をつくることができますが、バージン燃料との対コストの面や、需要と供給のバランスがなかなか合わないのが悩みの種です。また、大きな企業に使っていただこうとしても、総量規制がある。今後、解決していきたい問題ですね。』

——では最後に、貴社の経営方針と将来的展望を教えてください。

加山『適正処理を行うことによって経営の安定化を図ることが当社の経営方針です。将来については、もっと広い敷地を確保し、焼却炉を2基備えてさらに効率化を図りたいですね。また、私の夢は、500kwの電気を起こすことです。その実現に向けてどんどん挑戦いくつもりです。』



社名/加山興業株式会社 所在地/愛知県豊川市南千両2-1  
代表者/加山昌弘 創業/昭和26年 従業員/20名 TEL/05338(9)0375  
事業所/本社、豊川工場  
営業種別/収集運搬、中間処理（焼却、破碎、減容固化）、最終処分  
取扱い品目/燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、鉱さい、建設廃材、ダスト類、引火性廃油、感染性産業廃棄物